

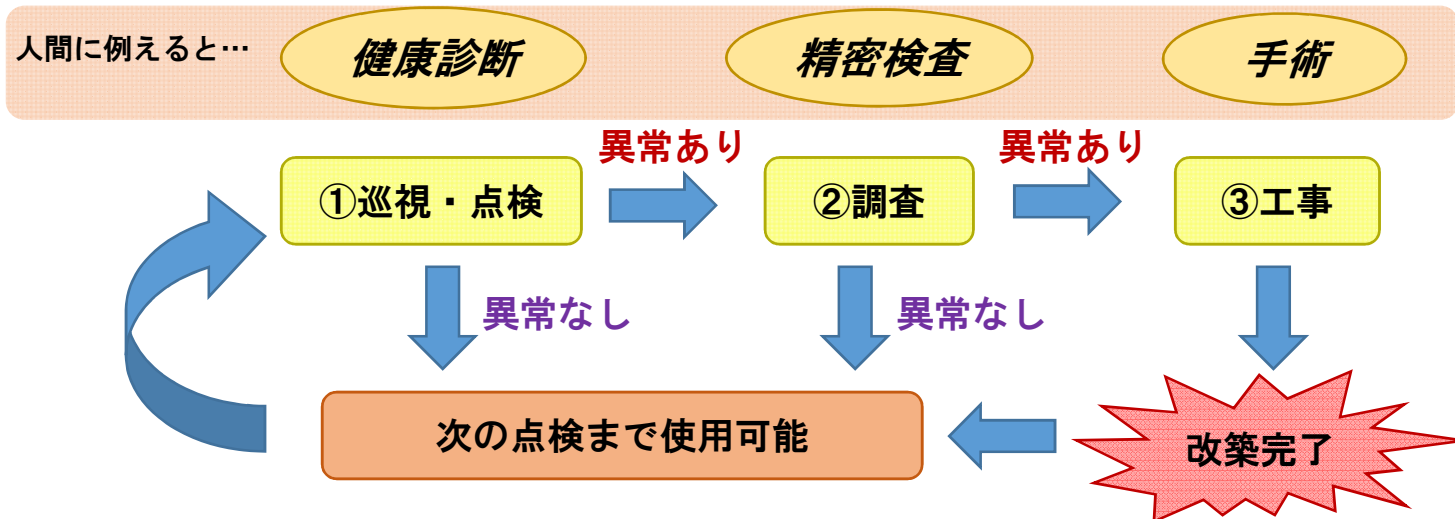
下水道の健康診断

～高槻市の下水道の健康状態は？～

昨今、公共インフラの老朽化が全国的に深刻な問題となっており、1960年～70年代の高度成長期に建設された道路や橋、上下水道が、一斉に更新時期を迎えています。特に下水道の老朽化は、道路陥没事故に繋がるリスクが高く、下水道の老朽化が原因とされている陥没事故が全国で年間約3,000件発生しています。

1960年代より進めてきた本市の下水道管の延長は約1,240kmにのぼり、この内、下水道管の寿命とされている50年を超えるものが、全体の約2%ほど（2017年時点）です。しかし、20年後には約30%を占めることになり、老朽化が一気に進むことが予想されるため、計画的に点検・調査を行い、改築・更新を進めることが重要です。

そこで、本市では平成29年度に「高槻市下水道ストックマネジメント計画」を策定し、平成30年度から、市内全域で下水道の点検・調査を行い、計画的な改築工事を行っております。



①【巡視・点検】下水道管やマンホールの点検

健康診断

市内全てのマンホール蓋を開け、マンホール蓋及び内部の点検を行います。また、マンホールから目視・カメラにて下水道管の水の流れに異常がないことを確認します。



②【調査】詳細カメラ調査

精密検査

巡視・点検で不具合の恐れがある下水道管の内部を調査します。調査は、バキューム車・高圧ジェット車で下水道管の中を清掃した後、カメラ搭載車で自走式カメラの映像を見ながら異常の原因を調べます。



③【工事】下水道管の改築工事

手術

点検・調査結果より、下水道管及びマンホールの不具合箇所を特定し、下水道管を入れ替えたり、内面をコーティングすることで、下水道管をリフレッシュさせます。



調査で下水道管の悪いところを発見して、未然に事故を防いでいるんだね！



下水河川事業課からのお願い

点検・調査は市内全域で行い、通行止め等の道路規制が伴う場合があります。また、点検結果によっては緊急で作業（清掃・工事）を行うことがあります。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

